

平成31年度 学校経営計画 足立区立竹の塚小学校

学校長 桐敷 芳子

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とした、健やかでたくましい心身と、地域社会の一員としての自覚を培うとともに生涯にわたり主体的に学び、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる児童の育成を図る。児童が自ら、生命や自然を大切にし、道徳心と規律を守る心をはぐくみ、明日への夢と希望をもち続けることができるように教育を進める。

○考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ●確かな学力を着実にはぐくむ学校 ●健やかな心と体を着実にはぐくむ学校 ●家庭・地域から信頼され、特色ある開かれた学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ●学び続ける子ども ●心温かな子ども ●健やかな子ども
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ●子どものよさを認め、励まし、高める教職員 ●日々の授業や教育環境の充実を目指し、工夫・改善を図る教職員 ●家庭・地域と共に汗し、喜びや悲しみを分かち合う教職員

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上)

区学力調査において国語・算数ともに通過率が78%を下回った。特に国語は71.9と低く、言語領域の習熟に課題が見られた。結果を受け、個別学習では言語領域を中心に習熟の取組を行った。31年度も引き続き、個に応じた指導や補充教室等を実施する。小中連携事業では、小中の授業参観を計画どおり実施できたとともに、活発な話し合いができた。若手研修は、新学習指導要領改訂のポイントの研修と位置づけ、全教員対象とした。低・中・高・専科の分科会で校内研研究を進め効果を上げている。今後も、小中連携や研修会の充実を図る。

重点的な取組事項－2 思いやりの心の育成と体力の向上

集団生活の基本的習慣の徹底を図るため、「竹小(㊦)話を聞く(㊧)掃除後片付け(㊨)挨拶(㊩)時間を守る」の標語を児童へ浸透させた。児童の91%が「守っている」と答えた。「心の授業」を引き続き実施し、自己肯定感を高める授業は児童にも好評である。たてわり班活動をはじめ、異学年での交流活動を重視し、実施することができた。相手の立場を考え、思いやりの心を育てるためにも継続していく。体力調査の分析により投力の向上が課題であった。体育の授業や土曜授業の放課後等で、「投げる運動」を重視した運動に取り組んだ。その結果、投げ方や投力調査結果に成果が見られた。

重点的な取組事項－3 特色のある教育活動の実施

「弁論大会」は課題設定や資料提示に幅を持たせ、児童の実態に寄り添った内容に変更した。その結果、保護者や地域の方々にも大変好評であった。高学年だけでなく、発達段階に応じて全校で取り組む計画を立て、作文や意見発表会等内容を吟味し、実施できた。地域の人材を生かした体験的授業では地域の人材を開拓し、各学年で外部の専門家や地域のゲストティーチャーによる体験的授業(折り紙教室、茶道体験、落語教室、食育、スポーツ教室、法教育等)を多く実施することができたので継続する。地域の行事やコンクール等に関しても児童が積極的に参加することができた。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	学力向上(基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上)	○	○	○	○	○
2	思いやりの心の育成と体力の向上	○	○	○	○	○
3	特色ある教育活動の実施	○	○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上(基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上)
A 今年度の成果目標		平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標
学力向上(基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上)		区学力調査目標通過率76% 年度末通過率70%
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
基礎的・基本的な学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ・SP表分析から定着状況把握、つまずきの多い内容の授業改善及び東京ベーシックドリルの活用 ・パワーアップタイム(週2回)、竹小タイム、放課後学習の実施 ・学力向上委員会で進捗状況の把握検証 ・そだち指導員による個別指導の実施。 	
小中連携・幼保小連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・連携小学校の校内研究への参加及び中学校との連携年間7回実施 ・中学校は授業公開及び出前授業、小学校は全教員が年1回授業公開 ・連携小学校及び中学校と授業改善に向けての協議会を実施 ・近隣幼稚園・保育園との連携事業として読み聞かせや交流給食、小学校体験を実施 ・教員の保育園研修実施 	
教員の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区スタンダードに基づいた授業観察を全教員年間3回実施 ・若手教員を対象とした研修会を月2回実施(含実技研修や互いの授業観察) ・校内研究による教材研究・授業改善 ・区小研への参加促進 	
前年度の成果と課題		
○学力向上(基礎的・基本的な学力及び言語能力の向上)		
<p><達成基準></p> <p>足立区学力調査の国語、算数の問題ともに全学年で78%以上の目標通過率を超える。</p> <p><成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過率が2科平均で74.4%(国語71.9、算数77.0)であった。国語は言語領域に課題があった。課題を明確にした上で個別指導の充実を図った。 ・平均正答率では、国語76.9%、算数78.7%であった。高学年の得点が伸びなかったため、算数の習熟クラスや個別指導学習で繰り返し指導し定着を図った。 ・そだち指導員による個別指導により、対象児童の学習意欲が向上した。 ・31年度は、国語・算数共に目標通過率76%を目指す。 		
○小中連携・幼保小連携の充実		
<p><達成基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携校との連携を7回実施 ・近隣幼稚園保育園との交流 <p><成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を計画的に進めることができた。中学校教員の出前授業は、小学校教員のよい研修の機会となった。 ・近隣幼稚園・保育園との交流は、小学校教員の就学前の児童の実態や指導法について学べた。交流活動は、読み語りや給食に加え、遊びや小学校体験を取り入れた。園児は大変喜んで活動に参加した。 ・今後も連携強化により有効な研修の機会としていく。 		
○教員の授業力向上		
<p><達成基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足立スタンダード」の徹底 ・若手教員研修会の実施 <p><成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力定着指導員の月1回個別指導により若手教員の授業力が向上し、足立スタンダードが浸透できた。 ・校内研究では、低・中・高・専科の分科会で研究を進め、充実することができた。 ・教員が区小研で意欲的に研修した。 ・若手研修を新学習指導要領の改訂のポイントを学ぶ研修(全教員)にシフトし、研修意欲が高まった。 		

D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
別紙 「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照		

重点的な取組事項－2	思いやりの心の育成と体力の向上
-------------------	-----------------

A 今年度の成果目標	達成基準
思いやりの心の育成と体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の徹底強化 自己肯定感アンケートで7割の肯定感 体力調査での課題改善、体力の向上（投力を重視）

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
基本的な生活習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じてあいさつ運動の実施 「竹小(か)(み)(き)(そ)(あ)(じ)」の85%以上の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝児童が交代で校門でのあいさつ及びPTAによるあいさつも実施 月1回生活指導主任が「竹小(か)(み)(き)(そ)(あ)(じ)」の全校徹底講話 毎週各クラスで「竹小(か)(み)(き)(そ)(あ)(じ)」を意識化
自己肯定感と主体性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感アンケートを実施し、自己肯定感をもっている児童が7割 	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める授業をSCを中心に担任と全学級で実施 週1回生活指導夕会、月1回いじめ防止対策委員会で児童の状況把握 たてわり班活動など異学年交流の充実 担任同士が連携した特別支援教室の充実
体力を高める指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 週1回業間運動「マッスルタイム」を実施 長縄チャレンジ区目標8割達成学級が5割 持久走大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 体育や週1回の中休み「マッスルタイム」では、体力調査で課題がある運動（投げる運動）を中心に計画的に実施 月1回長縄記録会を実施、区の目標8割に到達したら表彰 持久走大会に向けて体育・マッスルタイムで練習時間を設定

重点的な取組事項－3	特色ある教育活動の実施
-------------------	-------------

A 今年度の成果目標	達成基準
特色ある教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 調べ、まとめ、表現する活動の効果的な実施 各学年3回以上体験的授業・取組の実施

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
思考力・判断力・表現力を育むため言語能力向上の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 課題探求学習の充実 読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を持ち、適切に調べ、まとめ、表現する活動を重視する。 読書週間の実施年3回 図書ボランティアによる読み語り月1回、図書委員による読み語り年3回実施

<p>多様な立場や考えを理解するための体験的授業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実感を伴う体験的な活動を取り入れた授業の実施 ・外部講師による体験的授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による自国文化理解授業の実施 ・放課後子ども教室との連携による折り紙教室（1年）の実施 ・法教育授業（6年）の実施 ・オリンピック・パラリンピック教育に関連したスポーツ教室の実施
<p>豊かな心を育むため地域と連携した教育活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携事業の充実 ・地域の行事に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣幼稚園・保育園との交流活動（読み語り・給食・遊び・行事招待等） ・アサガオ栽培コンクール、図画・書道コンクール、税に関する絵葉書コンクール、人権の花運動、炎天寺「一茶まつり」への参加 ・町会の納涼祭等に中学年児童が民舞を披露